



## 介護職員研修会開催

日時：令和元年7月18（水）18時30分から20時 場所：サンフレッシュ白河 参加者：90名

令和元年の医療・介護関係者の研修として訪問介護職員、介護支援専門員、薬剤師の方々の参加による第1回介護職員研修会が開催されました。今回は「薬剤師が介護サービスに入る恩恵」というテーマで、白河薬剤師協会会長の三科龍平先生による講義が行われました。

講義では「薬剤師は居宅サービスで何が出来るかの実例と提案」などを中心に話され、多くの参加者が熱心にメモを取る姿が見られました。

続いて、「iさん70歳代が抱える問題」という事例研究が14のグループに分かれて行われました。

各グループそれぞれに必ず薬剤師の方が1名ずつ入り、活発な意見交換がなされました。

グループワーク終了後には、各グループの代表が話しあった内容について発表され、“今までの事を一度止まって支援会議を行う”“まずは信頼関係を築くことから情報を共有し、いろいろな職種が混ざったほうが一番良いのではないか”など活発な意見・提案がなされました。



## 在宅医療症例検討会議開催

7月12日（金）、白河地域で在宅医療にかかわる医師の参加による在宅医療症例検討会が拠点センターで開催されました。

事務局（拠点センター）から平成30年度の拠点センターへの相談内容、在宅診療患者・看取り数、特養・老健における看取り調査結果など報告されました。今回、症例研究は行われませんでした。県南地域では訪問看護体制が手薄との現状が話され、今後の課題と認識されました。

## 開催された出前講座

テーマ：在宅医療ってなに？

開催日：7月10日 講師：白河在宅医療診療所 穂積彰一先生

会場：表郷竹の内集落センター・ほのほのサロン・ビャッコイ

参加者：地域住民

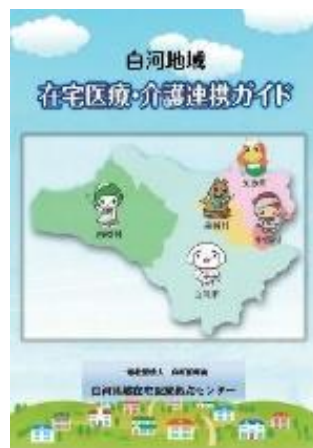
## ACP コアメンバーグループワーク

今年度4回目となる7月22日、5回目となる8月19日にACP コアメンバーによるグループワークが行われました。新規メンバーも加わりメンバー数は15名となりました。今後、どのような形で活動を広めていったらよいかなど議論がなされました。

## 地域医療体験

8月1日（木）、福島県内の医学部学生12名の地域医療体験研修がひもろぎ相談室、在宅医療拠点センターで行われました。講師は穂積彰一医師、ファシリテーターとして南地域介護支援専門員協会会長 星吉典氏、県南障がい者就業・支援生活支援センター佐藤隆幸氏が研修に加わりました。研修内容は、穂積医師による「在宅医療に取り組む医師の講話」に続き、「在宅医療における多職種連携」というテーマでグループワークとその発表が行われ、拠点センターでは、杉原常夫副センター長より、拠点センターの取り組み内容について説明が行われました。

## 在宅医療・介護連携ガイド発行！



平成29年度に刊行された白河地域在宅医療・介護連携ガイドが改定され、新しく令和元年度版が刊行されることになりました。掲載事業所は病院、医院・診療所、歯科医院、訪問看護ステーション、調剤薬局及び介護保険サービス事業所が網羅されています。今年9月末までには、印刷物を各事業所へお配りできる予定です。

